

平成30年度第2回理事会議事録 (正)

一般社団法人 海洋会

1. 日 時 平成30年11月12日(月) 14:00～15:30
2. 場 所 東京都千代田区麴町4-5 海事センタービル701・702号会議室
3. 議 案
 - 第一号議案 : 海洋会創立100周年記念事業特設委員会委員長推薦について
 - 第二号議案 : 平成30年度社員推薦委員会委員の承認について
 - 第三号議案 : 平成31年度社員総数の決定について
 - 第四号議案 : 会誌「海洋」5月号の発行を廃止して発行回数を年4回とする件について

4. 報告事項

- (1) 海洋会創立100周年記念事業特設委員会の活動報告
- (2) 帆船日本丸の保存活用に向けた募金活動に対する寄附金の拠出について
- (3) 海洋会収支改善計画案(事業活動支出縮減策と事業活動収入増加策)
- (4) 平成30年度上期収支決算報告
- (5) 平成30年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告

5. 出席者(50音順、敬称略)

理 事

石津 則昭	石田 隆丸	井手 祐之	今村 洋一	遠藤 充
岡本建之介	門野 英二	河原 健	葛西 弘樹	神田 一郎
久門 明人	鈴木 三郎	高橋 孜	平塚 惣一	増田 恵
三宅 庸雅	山本 勝			

監 事

甲斐 定彦
桑田 守

6. 議事の経過及びその結果

- (1) 事務局から、本日の理事会は、理事定数20名のところ出席者17名で、定款38条の規定により本会は成立していること、甲斐定彦監事並びに桑田守監事が出席されていることが報告された。
- (2) 定款39条の規定により会長が議長となり議事を進めた。まず、議事録について議長から「法令の定めるところにより、出席した代表理事及び監事が議事録

に記名押印することが義務付けられている。なお、押印については、事務局が作成した議事録(案)をメールで送付するので確認頂き、必要箇所を訂正のうえ返送願ひ、事務局で議事録を作成させる。その後議事録(正)を郵送するのでご確認戴き、記名押印ののち返送戴きたい」と説明した。

(3) 議案の審議

配布資料の確認後、以下の通り議案が審議された。

第一号議案 事務局から『資料-1:「特設委員会委員名簿」を示し、平成29年度第4回理事会(平成30年3月19日開催)において、海洋会創立100周年記念事業実施に向けて準備期間を考慮し、創立記念日の2年前を目途に特設委員会を設置することが承認された。また、特設委員会の設置については、海本規2-03「委員会規程」に、会長が特に必要と認めたときに設置することができるが、委員長は理事会の推薦によると明記されている。委員長の選任については、山本会長は、岸本宗久氏に対して特設委員会の委員長を依頼し、既に本人の了解が得られている。就いては、追認の形になるが、本理事会において岸本宗久氏の委員長推薦を御承認戴きたい。また、委員の指名については委員長が行うことになっていることより、岸本宗久氏と当会の事務局と打合せた結果、6名の委員が既に指名されている。更に、当委員会の事務局は、山本会長と岡本専務理事の2名が務めていくことが確認されていることを御報告する』旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第一号議案は承認された。

第二号議案 事務局から『資料-2:「社員推薦委員会委員名簿」を示し、定款第14条(社員選挙)には、社員を選出するための正会員による選挙を2年に1度3月に行う。また、海本規1-03「社員選出規程」には、社員選挙に供する候補者を選出するため社員推薦委員会を設置しなければならない。社員推薦委員会委員は、常設委員会(会務委員会、企画委員会、海事問題調査委員会、編集委員会)から各1名、東京・横浜・神戸支部から各1名、東京海洋大学海洋工学部・神戸大学海事科学部から各1名、その他から6名、合計15名の委員をもって構成する。この15名の委員は、理事会の議決を経て、会長が委嘱すると決められている。海洋会事務局は、「社員選出規程」に従って、社員推薦委員会委員候補者15名を選出し、本人からは既に社員推薦委員会の委員に推薦された場合は、受諾するとの同意書も取得している。就いては、推薦委員会委員に推薦された15名の御承認を頂きたい』旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第二号議案は承認された。

第三号議案 事務局から「定款第13条(社員)には、この法人の社員は正会員50人の中から1人の割合をもって選出された者をもって社員とする。ここで算出した数字の端数については、理事会で定める、と決められている。平成30年3月31

日現在における社員被選挙権の保有者数は 3,567 名であったので、 $3,567 \div 50 = 71 \sim 72$ 名になる。平成 31 年度の社員総数は 72 名とすることを御承認願いたい」旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第三号議案は承認された。

第四号議案 事務局から『資料－3：「直近3年間の事業活動収支差額推移と平成30年度予算額」より、平成30年度事業活動収支差額は、-1,208万円のマイナスなることが予想されたことより、平成29年度第4回理事会（平成30年3月19日開催）において、平成29年6月20日に償還された利付国債（5年）3,200万円を基本財産から流動資産へ繰り入れることが了承されて、赤字予算が回避された経緯がある。収支差額がマイナスとなった主な要因は、基本ポートフォリオのリバランスを行った結果、基本財産利息収入が657万円減少すること。また、会費収入が3,226万円から197万円減少して3,028万円になることが予想されるからである。これを踏まえ、平成30年度予算は、実質の事業活動収支差額がマイナスにならないように、3,200万円を流動資産へ繰り入れることを理事会の御了解を頂きましたが、今後も会費収入は減少していくことが予想されるので、平成31年度以降の事業計画については、その見直しを行い、収益増加、並びに経費縮減を行っていくことになった。海洋会本部事務局は、配付資料－4に示す通り、「海洋会収支改善計画（案）」を取り纏めて、平成30年度第1回企画委員会（平成30年10月9日開催）、並びに平成30年度第2回会務委員会（平成30年11月6日開催）へ、海洋会収支改善計画（案）を提案し、両委員会において、議決承認された。このことについては、後段の報告事項（3）で詳しく説明するが、その中の1つである会誌「海洋」5月号を廃止する案については、平成31年度の事業計画（案）作成時に会誌「海洋」の発行回数を明記する必要があることより、本理事会において議決承認を戴くものである。尚、5月号を廃止することで、年間210万円のコスト縮減が可能となる』旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第四号議案は承認された。

〈主な質問と回答〉

- ・（議長）年5回発行している会誌「海洋」の各号の主な役割を述べて欲しい。
- ・（事務局）ご既承の通り、会誌「海洋」は、1月号、3月号、5月号、8月号、10月号と5回発行している。各号の主な役割は以下の通りである。
 - 1月号： 海洋会会長より、会員に向け念頭の挨拶を行うこと。
 - 3月号： 学生特集として、「両校の就職先状況、在学生の活動状況など」を掲載し、新たに入学してくる新入生（含むご家族）に届けること。
 - 5月号： 特記事項なし。
 - 8月号： 定時社員総会議案書・定時社員総会・会員懇親会の内容を掲載

し、会員に向けお知らせすること。

10月号：7月の海の記念日前後に行われる、各支部での活動状況を会員に向けお知らせすること。

- ・(理事) 会誌「海洋」の各号の発行月と名称(例えば、新年号、春期号、夏期号、秋期号など)については、読者の立場に立った配慮をお願いしたい。
- ・(事務局) 事務局で案を取り纏め、編集委員会に諮り決定し、理事会に報告する。

(4) 報告事項

報告事項(1) 事務局から、『平成30年9月3日特設委員会の第1回目「キックオフ・ミーティング」が開催された。ここでは、100周年事業として「何をするか」を議論し、取り纏めて行くことを目的として開催された。何の為に100周年事業を行うのかを具体化することで、実行委員会を立ち上げると云ったことにも繋がっていき、具体的な方針(目的・理念)が決まれば、特設委員会のやるべきこと(フレーム)が明確になっていく。今後は、特設委員会は1回/月の割合で開催していくことも申し合わせた。

第2回特設委員会は、10月1日に開催された。ここでは、

- (i) 創立100周年記念事業の「目的・理念」の明確化
- (ii) 創立100周年記念事業の「事業項目」の絞り込み

を議題とした。

(i) については、会の存続を前提において、

- イ) 「海事関係の理解を世の中に伝えること(会の歴史・存続)」
- ロ) 「後継者達に道標を示すこと(会の存続)」
- ハ) 「船に関わる人達との交流・親睦を図ること(会の拡張・存続)」を事業目的として具体化していくとの方向で集約することになった。

(ii) については、次回の委員会で事業項目のうち、

- イ) 「過去の情報(校友会誌、70年史)」整理・取り纏めについて議論を行うこと、
- ロ) イベントや祝賀会を行うに際し、「会場の確保(規模・日程)」について早めに目処をつけておく必要があることより、早急に議論を開始すること

を確認した』旨について報告した。

報告事項(2) 事務局から、『横浜港で係留保存されている帆船日本丸は、昨年「国の重要文化財」に指定された。これを受けて横浜市は、平成30年度から国(文化庁)の補助金を受けて2ヵ年を掛けて、今後の保存・活用を目指して、大規模な修繕工事を実施していくことになったが、市民自らの手で保存していくことも重要で

あると考えて、広く市民、企業にも募金協力を呼び掛けていくことになり、「帆船日本丸保存活用促進委員会」を立ち上げた。海洋会はこの「帆船日本丸保存活用促進委員会」の常任委員であること、また帆船日本丸には海洋会会員の多くが青春の1ページを飾った練習船として愛着を持っていること、更にこの帆船日本丸を末永く保存し、日本の海運と、そこに働く船員を広く世の中に認知して貰うことは、多くの海洋会会員が持つ本懐であると思われることより、賛助会員としての最低額1口20万円（1回限り）を寄附することと致したい』と報告した。

報告事項（3） 事務局から、資料－4：「海洋会収支改善計画（案）」を示し、以下の通りについて報告した。

（I）事業活動支出縮減策

事業活動支出縮減策については、番号1本部・支部事務局人件費（月額給与）削減、以下7項目の縮減策を計画しています。これを実行すれば、約500万円の経費縮減が達成出来ると見込んでいる。

以下に、主な縮減項目について、補足説明をする。

・ 2-1 会誌「海洋」発行回数 年5回→年4回に減

この件に付いては、第四号議案で承認されたので説明は省略する。

・ 6 越中島支部配賦補助金廃止

海洋会本部から越中島支部へは、支部補給金として平成29年度358,600円が支給されている。越中島支部は、支給された支部補給金の略全額を、年度末の2月に年1回に限り「越中島支部便り」と題した4頁の小冊子を2,000部作成して、その内の1,700部を、①在学生（1年～4年）で准員、②准員で卒業した正会員、③卒業後20年以内の正会員、宛に配付する費用に充てている。

この「越中島支部便り」の記事を集めるのは、越中島支部の業務であるが、その集めた記事を会誌「海洋」3月号に掲載すれば、越中島支部独自で印刷・製本化し、更に1,700部を郵送する必要はなくなり、大幅に支部業務量を減らし、経費縮減を図ることが出来る。

平成30年度以降は、越中島支部補給金を廃止し、「越中島支部便り」は会誌「海洋」3月号に掲載する方向で越中島支部と協議を行っていく。

・ 8 海技教育機構練習船 図書支援金 減額

平成27年12月3日開催された平成27年度第2回企画委員会において、海技教育機構の要請を受けて、寄贈図書に対する支援金を20万円から30万円へ増額した経緯がある。現在海洋会の財務状況を勘案すれば、寄贈図書に対する支援金30万円を維持することは困難であり、平成27年度以前の支援金額

である 20 万円へ減額することで、海技教育機構へ申し込みを行っていく。

(II) 事業活動収入増加策

・ 1 会費収入の増加を図ること

(イ) 新入会会員確保の推進

- －東京海洋大学海洋工学部では、合格通知書の中に「海洋会入会案内及び振替用紙」を同封して、准員会員の入会を進めて行く。
- －入学手続き並びにオリエンテーション時には、准員の入会勧誘を実施する。
- －卒業論文発表会場にお邪魔して、卒業後の就職先、卒業後の住所を記入して貰うとともに、来春卒業予定者に対して正会員への入会勧誘働きかけを強めて行く。

(ロ) 会費未納会員の会費入金促進活動

- －既卒者である会費未納者へ、督促状を送付する。更に、会員用WEBサービスシステムや郵便等を利用して、未納会費入金の促進活動を実施していく。
- －督促対象者は、4年以上会費未納の正会員全員。准員登録をしているが准員会費 10,000 円を支払っていない在學生、及び准員登録はしているが准員会費を払わずに卒業した准員登録者。
- －個人的に学友に対して、会費納入を働きかけて貰う様な情宣を図っていく。

・ 2 横浜海洋会館賃貸料の見直しを行うこと

横浜海洋会館は、6つのテナントに賃貸借契約を締結して賃貸されている。このテナントに対する賃貸料の見直しを行うことで、収入増加を図っていく。

尚、今回提案した海洋会収支改善計画案が達成できた場合においても、事業活動収支差額はマイナス（赤字）が続いていくことより、平成31年度以降においても、引き続き海洋会収支改善計画案を策定して、赤字解消に取り組んで行く必要がある。

〈主な質問と回答〉

- ・(理事) 資料－4「海洋会収支改善計画(案)」の項番1. 本部・支部事務局人件費(月額給与)削減について、削減額の割合を知りたい。
- ・(事務局) 本部事務局人件費は約15%、支部は約26%の減額となる。
- ・(理事) 本部・支部の事務局の仕事を責任を持って遂行してくれる人材を滞りなく確保・継続する為には、必要な費用であると認識しており、慎重に取り扱

って頂きたい。

- ・(事務局) 理事の懸念について事務局として心に留める。対象事務局員の業務量の削減、現在までの業務量の推移との見合いなど配慮した結果であること、今後の人材確保の観点から事情に応じた給与のレベルについて考慮していくことを申し添える。

報告事項(4) 事務局から、「資料－5：平成30年度上期貸借対照表、資料－6：平成30年度上期収支計算書、資料－7：平成30年度上期正味財産増減計算書」について報告した。

報告事項(5) 事務局から、「資料－8：平成30年度上期会長及び専務理事の職務執行状況をもとに定款第28条第5項の規程に基づき、平成30年4月1日から平成30年9月30日の期間における会長及び専務理事の職務執行状況」について報告した。

以上をもって本理事会の議事が終了したので、議長は15時30分に閉会を告げた。

(配布資料)

- ・資料－1 特設委員会委員名簿
- ・資料－2 社員推薦委員会委員名簿
- ・資料－3 直近3年間の事業活動収支差額推移と平成30年度予算額
- ・資料－4 海洋会収支改善計画(案)
- ・資料－5 平成30年度上期貸借対照表(平成30年9月30日現在)
- ・資料－6 平成30年度上期収支決算書(平成30年4月1日～9月30日)
- ・資料－7 平成30年度上期正味財産増減計算書(平成30.4.1～平成30年9.30)
- ・資料－8 平成30年度上期会長及び専務理事の職務執行状況

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに記名押印する。

平成30年11月20日

一般社団法人 海洋会

議長・代表理事 山本 勝 印

出席監事 甲斐 定彦 印

出席監事 桑田 守 印

海洋会創立100周年記念事業特設委員会 委員名簿

委員長	岸本 宗久	(東京N 9)	小川総合法律事務所 海事補佐人
委員	久保 雅義	(神戸N 13)	元神戸大学海事科学研究科長・学部長
同	小島 茂	(東京N 17)	前一般社団法人日本船長協会 会長
同	井手 祐之	(神戸E 14)	一般社団法人日本船舶機関士協会 会長
同	石田 隆丸	(東京N 22)	海洋会東京支部 支部長
同	石津 則昭	(東京N 26)	海洋会中国支部 支部長
同	佐田 昌弘	(神戸E 20)	海洋会 事務局長
事務局	山本 勝	(東京N 15)	海洋会 会長
同	岡本 建之介	(神戸E 14)	海洋会 専務理事

以 上

社員・役員推薦委員会 委 員

- (1) 常設委員会（会務委員会、企画委員会、海事問題調査委員会、編集委員会）から各1名
- (2) 東京支部、横浜支部、神戸支部から各1名
- (3) 東京海洋大学海洋工学部、神戸大学海事科学部から各1名
- (4) 第1号、第2号及び第3号以外から6名

平成30年度社員・役員推薦委員会 委員名簿

番号	選出母体	氏 名	出身校	勤 務 先
1	会務委員会	長田 泰英	東京N38	一般社団法人日本船長協会 参与
2	企画委員会	磯崎 道利	東京N27	一般財団法人海技振興センター 監事
3	海事問題調査委員会	井手 祐之	東京E14	一般社団法人日本船舶機関士協会 会長
4	編集委員会	山本 廣	東京N23	船主団体内航労務協会 専務理事
5	東京支部	杉山 桂	東京N36	株式会社成山堂書店 編集グループ
6	横浜支部	田島波留生	東京N18	海洋会横浜支部 常任委員会 委員長
7	神戸支部	藤原 義和	神戸E17	海洋会神戸支部 事務室長
8	東京海洋大学海洋工学部	國枝 佳明	神戸N27	東京海洋大学海洋工学部 教授
9	神戸大学海事科学部	淵 真輝	神戸BN40	神戸大学海事科学部 准教授
10	その他より 6名	金田 章治	神戸N22	船員災害防止協会 専務理事
11		高瀬 敏一	東京E19	一般社団法人日本船舶機関士協会 専務理事
12		中田 治	神戸N35	一般社団法人日本船長協会 常務理事
13		加藤 学	神戸N21	公益財団法人海技資格協力センター 事業統括
14		南屋 太郎	神戸BN39	独立行政法人海技教育機構 実習訓練課長
15		大立 康祐	東京E29	公益財団法人海技資格協力センター

直近 3 年間の事業活動収支差額推移と平成 3 0 年度予算額

会計年度	平成 2 7 年度 (実績)	平成 2 8 年度 (実績)	平成 2 9 年度 (実績)	平成 3 0 年度 (予算額)
投資信託 利息・配当金額	16, 191, 743	22, 892, 991	11, 938, 307	5, 363, 000
会費収入 (准員を含む)	36, 411, 250	34, 591, 675	32, 265, 725	30, 288, 000
不動産賃貸収入	14, 723, 712	14, 723, 712	14, 736, 672	14, 736, 200
会館使用収入	871, 480	562, 780	1, 041, 640	562, 000
会誌広告料収入	2, 710, 800	2, 365, 200	2, 235, 600	2, 224, 000
会館運営雑収入	67, 552	68, 423	71, 044	68, 000
その他の収入	39, 022	220, 611	35, 035	220, 000
収入合計	71, 015, 559	75, 425, 392	62, 324, 023	53, 461, 200
事業費	47, 208, 154	46, 683, 429	47, 393, 567	49, 257, 528
管理費	17, 538, 167	15, 459, 541	16, 033, 912	16, 291, 584
事業活動支出 合計	64, 746, 321	62, 142, 970	63, 427, 479	65, 549, 112
事業活動収支 差 額	6, 269, 238	13, 282, 422	-1, 103, 456	-12, 087, 912

海洋会収支改善計画（案）

（Ⅰ）事業活動支出縮減策

番号	縮減対象（項目）	縮減金額
1	本部・支部事務局人件費（月額給与）削減	2,160,000
2－1	会誌「海洋」発行回数 年5回→年4回に減	2,100,000
2－2	編集委員会開催回数 5回→4回	20,000
2－3	船主協会会長就任インタビュー廃止	86,400
2－4	機関紙連合通信社生活文化著作権料廃止	50,000
6	越中島支部配賦補助金廃止	358,600
7	海洋大学海事普及会活動支援金 減額	100,000
8	海技教育機構練習船 図書支援金 減額	100,000
	合 計 （2019/4/1より実施予定）	4,975,000

（Ⅱ）事業活動収入増加策

番号	収入増加（項目）
1	会費収入の増加を図っていく。
2	横浜海洋会館賃貸料の見直しを行っていく。

貸借対照表

配付資料－ 5

平成30年 9月30日現在

一般社団法人 海洋会

(単位：円)

科 目	当年度 (30. 9. 30)	前年度 (29. 9. 30)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	23,369,768	1,940,080	21,429,688
未収金	172,800	153,600	19,200
前払金	177,720	196,417	△ 18,697
横浜支部勘定	249,822	323,731	△ 73,909
神戸支部勘定	203,755	189,770	13,985
立替金	3,822	3,478	344
仮払金	2,531,600	2,393,600	138,000
流動資産合計	26,709,287	5,200,676	21,508,611
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	29,325,010	29,325,010	0
公社債(基)	118,735,768	123,963,508	△ 5,227,740
普通預金(基)	0	32,000,000	△ 32,000,000
基本財産合計	148,060,778	185,288,518	△ 37,227,740
(2) 特定資産			
役員退任慰労引当資産	2,062,500	1,268,750	793,750
退職給付引当資産	3,017,603	2,788,418	229,185
建物減価償却引当資産	60,402,784	55,117,800	5,284,984
備品減価償却引当資産	8,400,353	7,494,190	906,163
受入敷金積立資産	300,000	300,000	0
受入保証金積立資産	5,178,370	5,178,370	0
学生奨励金資産	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計	81,361,610	72,147,528	9,214,082
(3) その他固定資産			
建物	248,092,657	245,824,657	2,268,000
備品	13,401,277	13,401,277	0
減価償却累計額	△ 163,902,015	△ 157,710,868	△ 6,191,147
その他固定資産合計	97,591,919	101,515,066	△ 3,923,147
固定資産合計	327,014,307	358,951,112	△ 31,936,805
資産合計	353,723,594	364,151,788	△ 10,428,194
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,324,527	1,135,746	188,781
前受金	464,080	528,880	△ 64,800
預り金	523,841	547,539	△ 23,698
流動負債合計	2,312,448	2,212,165	100,283
2. 固定負債			
役員退任給与引当金	2,062,500	1,268,750	793,750
退職給付引当金	3,017,603	2,788,418	229,185
受入敷金	300,000	300,000	0
受入保証金	5,178,370	5,178,370	0
学生奨励金	2,000,000	0	2,000,000
固定負債合計	12,558,473	9,535,538	3,022,935
負債合計	14,870,921	11,747,703	3,123,218
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体助成金	8,514,667	8,713,067	△ 198,400
指定正味財産合計	8,514,667	8,713,067	△ 198,400
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	148,060,778	185,288,518	△ 114,834,389
(うち特定資産への充当額)	70,803,137	62,611,990	8,191,147
正味財産合計	338,852,673	352,404,085	△ 13,551,412
負債及び正味財産合計	353,723,594	364,151,788	△ 10,428,194

収支計算書

配付資料－6

平成30年 4月 1日から平成30年 9月30日まで

一般社団法人 海洋会

(単位：円)

科 目	30年度通期予算額	30年度上期決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産等運用収入	5,363,000	1,008,000	4,355,000
基本財産利息収入	5,363,000	1,008,000	4,355,000
会費収入	30,288,000	11,796,200	18,491,800
不動産賃貸収入	14,736,200	8,432,952	6,303,248
不動産賃貸収入	14,736,200	8,432,952	6,303,248
会館使用収入	562,000	309,690	252,310
広告料収入	2,224,000	75,600	2,148,400
会誌広告料収入	2,224,000	75,600	2,148,400
会館運営雑収入	68,000	32,010	35,990
雑収入	220,000	178,192	41,808
受取利息収入	0	192	△ 192
その他	220,000	178,000	42,000
事業活動収入計	53,461,200	21,832,644	31,628,556
2. 事業活動支出			
事業費	49,257,528	22,328,301	26,929,227
役員報酬	2,055,294	948,268	1,107,026
給料手当	12,944,730	6,409,964	6,534,766
福利厚生費	1,474,224	728,780	745,444
会議費	950,952	134,332	816,620
旅費交通費	1,186,624	353,298	833,326
通信運搬費	3,544,797	1,528,594	2,016,203
消耗品費	338,647	374,564	△ 35,917
事務機費	2,225,940	1,223,572	1,002,368
新聞図書費	183,321	141,117	42,204
修繕費	3,627,310	1,667,519	1,959,791
印刷製本費	6,288,104	2,541,746	3,746,358
光熱水料	789,620	545,234	244,386
借地料	2,032,312	1,275,749	756,563
借室料	827,594	104,130	723,464
共益費	2,548,140	1,426,683	1,121,457
保険料	114,738	27,453	87,285
諸謝金	150,347	66,821	83,526
租税公課	2,497,160	1,346,860	1,150,300
母校支援金	2,087,836	121,312	1,966,524
講演会費	268,948	10,000	258,948
事務委託費	453,851	218,078	235,773
清掃費	898,224	559,923	338,301
渉外費	118,187	30,000	88,187
会館運営雑費	73,087	33,532	39,555
雑費	1,577,541	510,772	1,066,769

科 目	30年度通期予算額	30年度上期決算額	差 異
管理費	16,291,584	7,474,806	8,816,778
役員報酬	1,750,806	807,792	943,014
給料手当	3,866,608	1,914,661	1,951,947
福利厚生費	440,352	216,929	223,423
会議費	142,096	53,032	89,064
旅費交通費	315,432	395,560	△ 80,128
通信運搬費	942,288	88,720	853,568
消耗品費	152,146	36,330	115,816
事務機費	1,000,059	549,748	450,311
修繕費	590,492	0	590,492
印刷製本費	330,953	45,360	285,593
光熱水料	338,408	119,959	218,449
借地料	870,991	235,492	635,499
借室料	354,683	126,640	228,043
共益費	1,092,060	611,447	480,613
保険料	49,173	8,667	40,506
租税公課	1,070,212	512,507	557,705
事務委託費	1,058,987	677,590	381,397
清掃費	384,953	102,989	281,964
渉外費	275,771	159,560	116,211
集金費	845,768	414,634	431,134
雑費	419,346	397,189	22,157
事業活動支出計	65,549,112	29,803,107	35,746,005
事業活動収支差額	△ 12,087,912	△ 7,970,463	△ 4,117,449
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	32,000,000	32,000,000	0
基本財産取崩収入	32,000,000	32,000,000	0
投資活動収入計	32,000,000	32,000,000	0
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	0	2,268,000	△ 2,268,000
建物取得支出	0	2,268,000	△ 2,268,000
特定資産取得支	7,096,082	0	7,096,082
建物減価償却積立預金取得支出	5,284,984	0	5,284,984
備品減価償却積立預金取得支出	906,163	0	906,163
役員退任慰労引当預金取得支出	637,500	0	637,500
退職給付引当預金取得支出	267,435	0	267,435
投資活動支出計	7,096,082	2,268,000	4,828,082
投資活動収支差額	24,903,918	29,732,000	△ 4,828,082
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	12,816,006	21,761,537	△ 8,945,531
前期繰越収支差額	0	2,635,302	△ 2,635,302
次期繰越収支差額	12,816,006	24,396,839	△ 11,580,833

正味財産増減計算書

配布資料－ 7

平成30年 4月 1日から平成30年 9月30日まで

一般社団法人 海洋会

(単位:円)

科 目	当年度 (30年度上期)	前年度 (29年度上期)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産等運用収入	1,008,000	3,569,630	△ 2,561,630
基本財産利息収入	1,008,000	3,569,630	△ 2,561,630
会費収入	11,796,200	11,676,225	119,975
不動産賃貸収入	8,432,952	8,432,952	0
不動産賃貸収入	8,432,952	8,432,952	0
会館使用収入	309,690	366,000	△ 56,310
広告料収入	75,600	10,800	64,800
会誌広告料収入	75,600	10,800	64,800
会館運営雑収入	32,010	22,490	9,520
雑収入	178,192	10,062	168,130
受取利息収入	192	62	130
その他	178,000	10,000	168,000
経常収益計	21,832,644	24,088,159	△ 2,255,515
(2) 経常費用			
事業費	22,063,780	22,210,482	△ 146,702
役員報酬	948,268	948,268	0
給料手当	6,145,443	6,333,419	△ 187,976
福利厚生費	728,780	652,697	76,083
会議費	134,332	138,004	△ 3,672
旅費交通費	353,298	710,848	△ 357,550
通信運搬費	1,528,594	1,276,104	252,490
消耗品費	374,564	442,702	△ 68,138
事務機費	1,223,572	1,283,821	△ 60,249
新聞図書費	141,117	162,068	△ 20,951
修繕費	1,667,519	874,967	792,552
印刷製本費	2,541,746	2,908,699	△ 366,953
光熱水料	545,234	500,531	44,703
借地料	1,275,749	1,253,708	22,041
借室料	104,130	158,360	△ 54,230
共益費	1,426,683	1,426,683	0
保険料	27,453	29,000	△ 1,547
諸謝金	66,821	66,821	0
租税公課	1,346,860	1,324,180	22,680
母校支援金	121,312	214,389	△ 93,077
講演会費	10,000	15,000	△ 5,000
事務委託費	218,078	218,824	△ 746
清掃費	559,923	536,547	23,376
渉外費	30,000	30,000	0
会館運営雑費	33,532	53,380	△ 19,848
雑費	510,772	651,462	△ 140,690

科 目	当年度 (30年度上期)	前年度 (29年度上期)	増 減
管理費	7,395,794	7,423,815	△ 28,021
役員報酬	807,792	807,792	0
給料手当	1,835,649	1,891,797	△ 56,148
福利厚生費	216,929	194,956	21,973
会議費	53,032	49,994	3,038
旅費交通費	395,560	288,519	107,041
通信運搬費	88,720	101,488	△ 12,768
消耗品費	36,330	36,855	△ 525
事務機費	549,748	576,822	△ 27,074
印刷製本費	45,360	99,360	△ 54,000
光熱水料	119,959	103,333	16,626
借地料	235,492	231,664	3,828
借室料	126,640	137,100	△ 10,460
共益費	611,447	611,447	0
保険料	8,667	12,440	△ 3,773
租税公課	512,507	547,967	△ 35,460
事務委託費	677,590	700,120	△ 22,530
清掃費	102,989	97,229	5,760
渉外費	159,560	258,120	△ 98,560
集金費	414,634	437,220	△ 22,586
雑費	397,189	239,592	157,597
経常費用計	29,459,574	29,634,297	△ 174,723
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,626,930	△ 5,546,138	△ 2,080,792
基本財産評価損益等	0	△ 28,800	28,800
基本財産評価損益等	0	△ 28,800	28,800
評価損益等計	0	△ 28,800	28,800
当期経常増減額	△ 7,626,930	△ 5,574,938	△ 2,051,992
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,626,930	△ 5,574,938	△ 2,051,992
一般正味財産期首残高	337,964,936	349,265,956	△ 11,301,020
一般正味財産期末残高	330,338,006	343,691,018	△ 13,353,012
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	8,514,667	8,713,067	△ 198,400
指定正味財産期末残高	8,514,667	8,713,067	△ 198,400
III 正味財産期末残高	338,852,673	352,404,085	△ 13,551,412

平成30年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告書

定款第28条第5項の規程に基づき、平成30年4月1日から平成30年9月30日迄の期間における会長及び専務理事の職務執行状況について、下記の通り報告します。

会長の職務執行状況

1. 海洋会関係会議

- (1) 第1回会務委員会 (5/11)
- (2) 第1回理事会 (5/21)
- (3) 支部長連絡会議 (5/21)
- (4) 編集委員会 (5/28)
- (5) 第98回定時社員総会・総会後の懇親会 (6/15)
- (6) 第1回海洋会創立100周年記念事業特設委員会 (9/3)

2. 外部団体主催関係会議・委員会出席

- (1) 海王丸遠洋航海出航式出席 (4/5)
- (2) 東京海洋大学学部・水産専攻科・乗船実習科・大学院入学式出席 (4/6)
- (3) 横浜支部春季懇親会出席 (5/8)
- (4) 海洋立国懇話会出席 (5/14)
- (5) 第48回戦没・殉職船員追悼式参列 (5/11)
- (6) 日本船長協会定時社員総会後の懇親会出席 (5/18)
- (7) 日本海難防止協会通常理事会出席 (5/30)
- (8) 日本水路協会懇親会出席 (6/5)
- (9) 公益財団法人海上保安協会理事会出席 (6/8)
- (10) 一般社団法人全日本船舶職員協会懇親会 (6/8)
- (11) 横浜支部常任委員会出席 (6/12)
- (12) 公益財団法人海難審判・船舶事故調査協会評議委員会出席 (6/13)
- (13) 日本海事広報協会評議委員会出席 (6/13)
- (14) 日本海難防止協会臨時理事会出席 (6/18)
- (15) 東京海洋大学海洋工学部後援会理事会出席 (6/18)
- (16) 公益財団法人海技教育財団臨時理事会出席 (6/19)
- (17) 東京海洋大学経営協議会出席 (6/22)
- (18) ボランティアクラブ総会出席 (6/23)
- (19) 明治丸グループ在籍10年功労者4名への感謝状授与式出席 (7/16)
- (20) 国土交通大臣表彰祝賀会出席 (7/24)
- (21) 公益財団法人日本殉職船員顕彰会主催「終戦記念日」献花式参列 (8/15)
- (22) 横浜マリクラブ「納涼パーティー」出席 (8/28)
- (23) 海洋会第98回創立記念日祝賀会開催 (8/30)
- (24) 東京海洋大学海洋工学部特別講義 (9/7)
- (25) 東京湾水先区水先人会会長／横浜クラブ会長との意見交換会 (9/10)
- (26) 横浜支部主催講演会出席 (9/11)

- (27) 特定非営利活動法人日本海洋塾との意見交換会 (9/26)
- (28) 東京海洋大学海洋工学部乗船実習修了式参列 (9/28)
- (29) 日本海事補佐人会 20周年記念パーティー出席 (9/28)

専務理事の職務執行状況

1. 平成29年度事業報告書及び決算書案の作成作業を行うと共に、監事や公認会計士に対する説明を行った。
2. 重要会議の開催準備を行うとともに、夫々の会議で資料の説明を行った。
3. 一般社団法人公益目的支出実施報告書を作成して内閣府へ書類提出した(6/26)。
4. 平成30年度事業計画及び収支予算書に基づき次の事業を実施した。
 - (1) 継続事業1 船員海事に関する調査研究
 - (2) 継続事業2 講演会の開催
 - (3) 継続事業3 海事思想普及
 - (4) その他事業1 不動産の賃貸
 - (5) その他事業2 会館の設置及びその運営
 - (6) その他事業3 会誌の発行
 - (7) その他事業4 会員の福利厚生
5. 海洋会関係会議・委員会・外部団体主催関係会議出席
 - ① 東京海洋大学新入生オリエンテーション准員入会説明会出席 (4/4)
 - ② 東京海洋大学入学式新入学生准員入会勧誘 (4/6)
 - ③ 日本殉職船員顕彰会第9回催事委員会出席 (4/16)
 - ④ 第1回海事問題調査委員会出席 (4/24)
 - ⑤ 東京海洋大学校友会役員会出席 (5/9)
 - ⑥ 平成29年度決算本部監事監査 (5/10)
 - ⑦ 第1回会務委員会 (5/11)
 - ⑧ 第48回戦没・殉職船員追悼式参列 (5/11)
 - ⑨ 日本船長協会定時社員総会後の懇親会出席 (5/18)
 - ⑩ 第1回理事会 (5/21)
 - ⑪ 支部長連絡会議 (5/21)
 - ⑫ 平成30年度第1回報道関係者との懇談会出席 (5/22)
 - ⑬ 東京海洋大学海洋工学部監事監査執行 (5/23)
 - ⑭ 日本船舶機関士協会定時社員総会後の懇親会出席 (5/25)
 - ⑮ 編集委員会 (5/28)
 - ⑯ 殉職船員顕彰会理事会代理出席 (5/29)
 - ⑰ 海事問題調査委員会出席 (5/31)
 - ⑱ 一般社団法人全日本船舶職員協会懇親会出席 (6/8)
 - ⑲ 第98回定時社員総会・総会後の懇親会 (6/15)
 - ⑳ 東京海洋大学海洋工学部後援会理事会出席 (6/18)
 - ㉑ 公益財団法人海技教育財団評議員会出席 (6/19)
 - ㉒ 第4回ランチセミナー開催 (6/20)
 - ㉓ ボランティアクラブ総会出席 (6/24)
 - ㉔ 東京海洋大学品川キャンパス総務部長訪問 (6/25)
 - ㉕ 日本殉職船員顕彰会第18回定時評議員会出席 (6/27)

- ②⑥ ボランティアクラブ／大学側連絡協議会出席 (7/10)
- ②⑦ 横浜支部打合せ会議出席 (7/12)
- ②⑧ 平成30年度第2回報道関係者との懇談会出席 (7/30)
- ②⑨ 日本殉職船員顕彰会主催「終戦記念日」献花式参列 (8/15)
- ③⑩ 編集委員会 (8/22)
- ③⑪ 横浜海洋会館活性化計画に伴う郵船不動産との打合せ会議 (8/22)
- ③⑫ 海洋会第98回創立記念日祝賀会開催 (8/30)
- ③⑬ 第1回海洋会創立100周年記念事業特設委員会出席 (9/3)
- ③⑭ 東京湾水先区水先人会会長／横浜クラブ会長との意見交換会 (9/10)
- ③⑮ ボランティアクラブ／大学側連絡協議会出席 (9/10)
- ③⑯ 東京海洋大学校友会第2回役員会出席 (9/25)
- ③⑰ 特定非営利活動法人日本海洋塾との意見交換会 (9/26)
- ③⑱ 日本海事補佐人会20周年記念パーティー出席 (9/28)

以 上